

令和7年度 鹿児島県教育委員会指定  
「へき地・小規模校教育」研究協力校

# 研究公開

油井小・中 学校

## 【学校教育目標】

ひとり歩きする児童生徒の育成

## 【研究テーマ】

へき地・小規模だからできる教育の発信

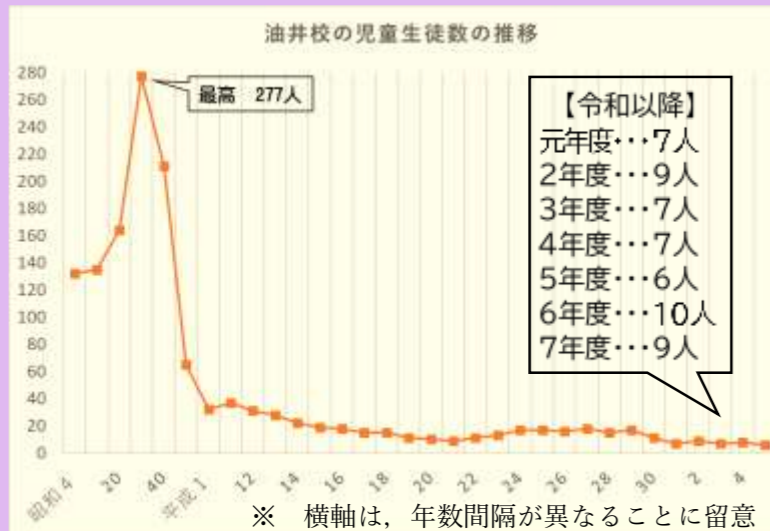
瀬戸内町立油井小中学校

令和8年2月3日（火）



# 油井小中学校は、現在、**極**小規模校！

昭和 35 年度の 277 人を最高に減少傾向が続き、令和に入ると一桁に突入！令和5年度は、最少の6人でした。



R7	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
小	—	2	1	1	1	1	6人
中	2	1	—	—	—	—	3人

- ・ 当然、複式学級！
- ・ 1学年1人の学年が5学年
- ・ ガイド学習も難しい状況
- ・ 1人の違いが職員定数に直接つながってしまう。

**学校の存続問題**

休校・閉校の日はそう遠くない…

「油井校の明日を考える会」(学校主催)  
令和4年12月15日  
＜校区の方々の思い＞

- ・ 校区から学校がなくなるのは、寂しい…
- ・ 地域の活気の拠り所がなくなる…

県指定無形民俗文化財  
「油井の豊年踊り」(旧暦 8/15)

各集落の豊年祭にも油井っ子が島唄・三味線の余興を披露して、豊年祭や敬老を祝っています。

大きめの学校を基準に考えると…だが、極小規模校だから…と考えてみたらいかがでしょう？

## 考えてみるとこんな営みが**自**ずと…

【夏場の熱中症対策】  
マイバケツ&マイ冷感タオル&大きい氷でコロナ禍に学んだ感染症拡大予防対策も兼ねて…  
これで、15分間の屋外運動を可能に！

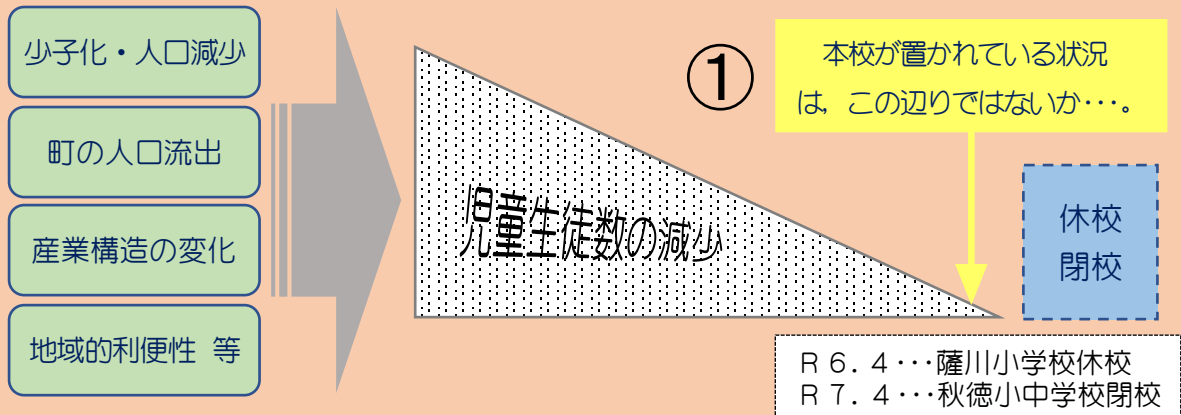
【隣接校とのオンライン授業:複式解消的学習】  
3校集合学習で培った関係性  
篠川小・嘉鉄小の児童同士、職員同士が協働で！

【ドラゴンフルーツ栽培活動:総合的な学習の時間】  
一人一苗以上を担当  
トゲがあるけれど、注意が行き届くのでどうにかOK！

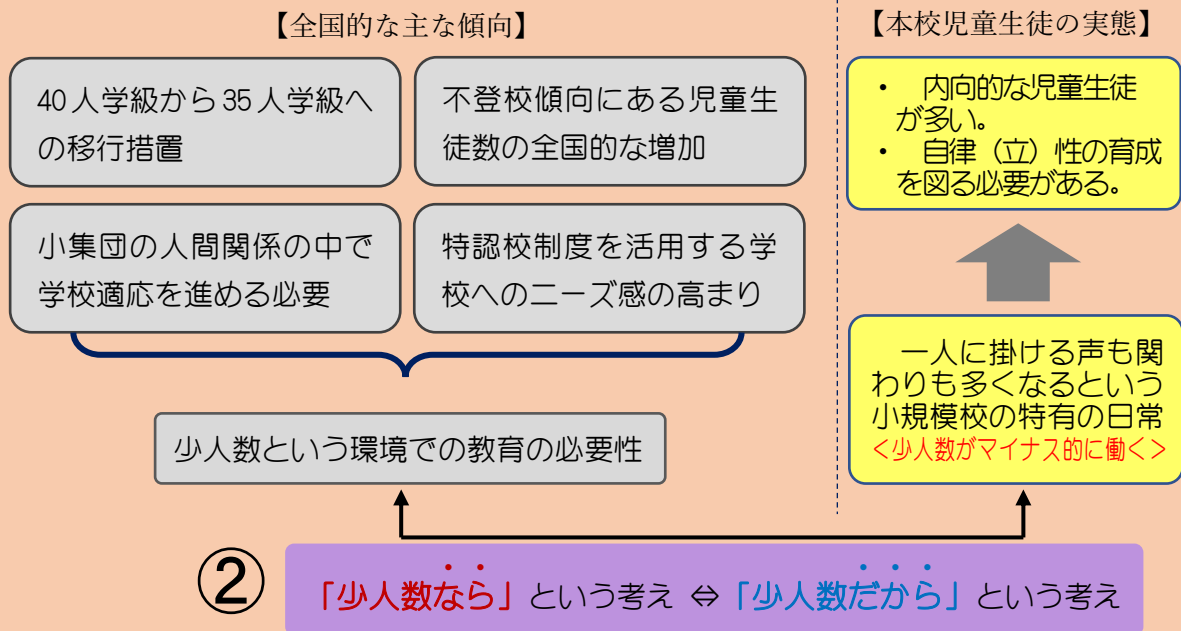
【中学生が小学生の活動を支える】  
本校の併設校の歴史は健在！  
小学1年生にも理解できる伝え方や指南役に中学生は徹して…  
小学生の活躍の場が広がる！

## 研究公開のねらいと視点

- 本校を取り巻く現状において



- 今日的な児童生徒の実態等において



- ②を踏まえると…

果たして、本校は、少人数の利点を意識した教育活動を展開できているのかという疑問！  
ならば…

- ①の休校・閉校に向かう手前の学校ではなく、小規模校として役割を担う学校として存在！

### 【研究公開のねらい】

- 1 小規模校の果たすべき今日的役割を再認識・再発見する機会としたい。
- 2 小規模校のよさを児童生徒の利益とする教育活動について考えてみたい。

### 【研究公開の視点】

- 1 小規模校のよさが発揮されている教育活動となっているか。
- 2 児童生徒の実態における課題を踏まえた教育活動を展開しているのか。

## 研究公開コンテンツ・研究協議について

### コンテンツ①： 小規模校でつなぐオンライン授業(教科：算数)



篠川小学校、嘉鉄小学校と、年に3回の集合学習で培った関係性を基に、複式の解消にもつながるオンライン授業に取り組んでいます。

授業論はさておき、隣接する小規模校同士が協働で行う学習の様子を実際に御参観ください。

今年で2年目の取組となります。

### コンテンツ②： 総合的な学習の時間における探究活動



今後、子どもたちが学習を進めていく軸が「探究活動」となることを前提に、総合的な学習の時間で取り組んでいる様子を紹介します。

11月に中間発表を行い、今回は、最終発表という位置付けで実際に発表します。この分野については、ある程度の理論も必要だと思います。

是非、御質問や御意見を子どもたちにお届けください。

### コンテンツ③： 小中併設校における特別活動



委員会活動として、小学2年生も校内放送を行います。その他にも旗揚げや給食献立掲示など全員体制で行っています。

中学生が小学生を支えるのが日常です。同年代の集団を組織するマネジメント力には届きませんが、小学1年生に伝わるリーダーシップについて工夫して取り組んでいます。

### 研究協議： 各ブースに分かれて、質問、意見交換による研究協議

ブース	各ブースの内容
1	複式指導やオンライン学習などの学習指導
2	個別の探究的な学び(総合的な学習の時間)
3	地域や家庭と学校との関わり
4	小規模校のよさを生かした学校経営
5	その他(各学校のお悩み相談や座談会)

素朴な疑問や、湧き出てきた意見、感想等を投げ掛けてください。

また、参加者同士が声を掛け合いながら、情報交換や実践交流なども行う時間としてください。

#### ～本研究に対する本校の姿勢について～

複式の授業の在り方、総合的な学習の時間の効果的な進め方、特別活動の充実などを研究してきたわけではなく、あくまでも「へき地・小規模校」教育という総論的な研究公開として捉えて取り組んできました。もちろん、授業や総合的な学習の時間なども皆様のヒントになることがあれば幸いです。本校の思いは、小規模校だからこそ効果が生まれる教育があり、そこに、小規模校の存在意義があるということをお客様と共有したいということです。

たくさんの御意見や気づきをお寄せいただくとありがたいです。

○ 篠川小学校と嘉鉄小学校と本校の3校によるオンライン授業の一部を御参観ください。小規模校同士をつなぐことで1人学級の学習形態を複数での学習形態としています。今後は、オンラインでのガイド学習をめざし、主体的に学ぶ指導法の充実を図る必要があると考えています。まずは、現在の様子を紹介します。

## 複式第5・6学年 算数科学習指導案【略案】

対象 第5学年6人，第6学年2人(本校第5学年1人，第6学年1人)  
 指導者 教諭 加島 成子(5年) 教諭 宮脇幸弘(嘉鉄小)(6年)

1 単元 体積(5年)  
 2 本時 第5学年：5/8

- (1) 目標  
 直方体，立方体の体積の求め方を生かして，複合立体の体積を求めることができる。
- (2) 本時の展開に当たって  
 本時の学習では，既習の直方体や立方体の求積公式を使って求められることを理解させていく。また，多様な考えを交流し，新たな見方が広がるように展開していく。
- (3) 実際

1 単元 算数のまとめ(6年)  
 2 本時 第6学年：4/7

- (1) 目標  
 体積の求め方を理解し，様々な立体の体積を求めることができる。
- (2) 本時の展開に当たって  
 既習の立体の求積公式を使い，様々な立体の体積を求めることで既習事項の習熟を図る。教科書の問題だけではなく，児童の実態に応じた複合立体の体積を求める問題を提示し，理解を深められるようにする。
- (3) 実際

過程	指導上の留意点(○) 授業の3つのポイント(★), 評価(◆)	主な学習活動(第5学年)	時間(分)	時間(分)	主な学習活動(第6学年)	指導上の留意点(○) 授業の3つのポイント(★), 評価(◆)
導入	○ 直方体・立方体の体積の求め方を想起させる。 ○ 複合立体を提示し，課題を設定する。  ★ 複合図形の面積の求め方を想起させ，直方体や立方体の体積の求め方が使えることに気付かせる。 【目標の明確化】 《MさんPOINT》 見通しをもたせて，自力解決で何をすべきか明確にさせる。 ○ 自力解決の時間を設定し，自分の考えを整理させる。  ◆ 複合立体の体積の求め方を説明させる。 《MさんPOINT》 自分の言葉で伝えたり，同学年の考えを聞いたりする機会を設ける。 ★ 同学年の複数の考えに触れ，学習の練り上げを行う。 【山場の工夫】 ★◆ 学習の振り返りを文章でまとめる。 【確かめ・見届け】	1 前時までの学習を確認する。 2 めあてを確認する。 直方体や立方体ではない形の体積はどのように求めればよいだろうか。 3 見通しをもつ。 直方体や立方体に分ける。 直方体にして，ひく。 同じ形を重ねる。 4 複合立体の体積を求める。 5 複合立体の体積の求め方を説明する。	10 10 10	3 2 3	1 基本的な立体の体積の求め方を確認し，本時の課題を提示する。 立方体＝一辺×一辺×一辺 直方体＝底面積×高さ けずれた形や階段の形はどうすればよかったか。 2 めあてを確認する。 様々な形の立体の体積は，どのように求めればよかっただろうか。 3 見通しをもつ。 大きな直方体として考えてみよう。 底面積×高さならより簡単にできたはず。 4 複合立体の体積を求める。 立体①：(大きな直方体－小さな直方体) 立体②：(底面積×高さ) 5 学習のまとめをする。 ① 分けたり，付け加えたり，移動させたりして求める。 ② 底面積×高さで計算して求める。	★ 本時で体積を求める立体を提示し，立体の名称や公式などの既習事項を想起させる。 【目標の明確化】 《YさんPOINT》 スモールステップで，基本的な立体の体積の求め方から確認していく。 ○ 自力解決の時間を設定し，自分の考えを整理させる。 ○ つまずいているときには，補助線を引くなど，必要に応じて助言をする。 ○ 児童同士で求め方を説明し，様々な求め方があることに気付かせる。 ○ 多様な考えが出ないときには，教師側から提示し，どのように求めたのか考えさせる。 《YさんPOINT》 ★ 解き方が固定化されているので，他校の児童と交流して，様々な考え方に触れさせる。 【山場の工夫】 ★◆ 学習の振り返りを文章でまとめる。 【確かめ・見届け】
展開		6 学習のまとめをする。 直方体や立方体に分けたり，大きな直方体からひいたりするとよい。	5	5		
終末	○ 振り返りをさせる。	7 練習問題に取り組み，学習の定着を図る。 8 タブレットで振り返り，今後の学習につなげる。	10	17 5	6 練習問題に取り組み，習熟を図る。 7 タブレットで振り返り，今後の学習につなげる。	○ 振り返りをさせる。

- (4) 評価  
 直方体，立方体の体積の求め方を生かして，複合立体の体積を求めることができたか。

- (4) 評価  
 体積の求め方を理解し，様々な立体の体積を求めることができたか。

# 少人数を意識した授業等について

## 【児童生徒の実態】

- ・ 留学制度や特認制度による転入の児童生徒が7割
- ・ 前籍校での育ちや学習状況等の円滑な移行に心掛け、学校生活の安定化を図る必要性
- ・ 全体的に思考力・判断力の向上を図りつつ、基礎・基本の定着の徹底が重要

## ■ 個に応じた授業→1人学級,2人学級の本校は,授業自体が個別具体になるのが必然 指導案作成時(例)

「児童生徒の実態や思考の流れを踏まえた授業展開となるべき」という考えから配慮事項を明確化

＜児童生徒名 POINT＞  
思考を広げる声掛けが必要なので、既習学習と関連付けて考えるよう促す。

指導案に示すことで、日常的に教材研究（行事等の諸活動も含む）における意識の持続化が図られる。

- 苦手意識が強い教科等で「がんばれた」という達成感へ
- できることが増えて「うれしい」という成功体験へ

## ■ 職員等との関わりと基礎基本の定着

【中学校の職員に音読やでき映えチェック】

【家庭学習の見取り】



油井の豊年踊りの練習の場において、子どもたちも大人に交じって演目の習得をさせていただいています。  
このように、たくさんの関わりを得ています。



## ■ 実験や体験活動は専ら活動量が増加



ダンボールで自分たちの町を作ってみた。2～4年生の4人で制作！

「おもちゃまつり」で賞品を2年生2人で作ってみた。



理科の実験中。器具をいろいろ操作しながら、常に、実験の主体となって取り組んでいます。



ビブリオバトル大会も朝の15分活動で実施可能！

## 小規模校で進める3校集合学習・合同修学旅行等の様子【小学校】

三校…篠川小学校（4人）、嘉鉄小学校（11人）、油井小学校（6人）（ ）：R7児童数

### ◆ 年に3回の集合学習を実施！

1・3学期は会場校(3校持ち回り)にて合同授業等を実施。2学期は、低・中・高学年ごとにスーパーや公共施設等の見学学習を実施。

【嘉鉄小学校会場：5月】



【見学学習：11月】



学年が上がるごとに顔見知り感も高まり、始まりから和やかな雰囲気での交流が行われるようになっていきます。オンラインを通して日常的な交流に発展しつつあります。

お見送りの時は、ちょっぴり寂しそうな感じになります。



### ◆ 高学年になると宿泊を伴う行事でも一緒に！

【宿泊学習：5月】



【修学旅行：6月】



### ◆ 篠川小中学校との合同活動

篠川小中学校とは、同じ小中併設校として、古仁屋の町のプールでの水泳学習を合同で実施しています。安全面においても職員の見守りが多いので助かります。

【水泳学習：6・7月】



オンラインによる授業を支えてきたのは、毎年、集合学習等の機会を設け続けていることだと考えます。

このような場は、「交流」という一言で括られますが、子ども同士も職員同士も、「風通し」がよくなっていく集合学習であることが重要なのだとつくづく思います。

## 小規模校で進める3校集合学習・合同修学旅行等の様子【中学校】

三校・・・篠川中学校（6人）、阿木名中学校（27人）、油井中学校（3人）（ ）：R7生徒数

### ◆ 古仁屋高校体験入学と3校集合学習を実施！

2学期に、3校で古仁屋高等学校の体験入学と阿木名中学校を会場に集合学習を実施

【古仁屋高等学校体験入学：10月】



【3校集合学習：11月】

篠川中学校と油井中学校にとっては、大人数での授業や日頃できない活動を味わう一日となります。

帰る頃は、朝とは違う和やかな雰囲気となっています。



### ◆ 篠川中学校との合同修学旅行・宿泊学習！

【宿泊学習：一昨年度5月】



【修学旅行：今年度6月】

## ● ちょこつと コーナー ●

熱中症対策グッズのほかにもマイ100と言える道具等がいろいろ！

トゲに注意の必要なドラゴンフルーツ栽培には、革製の手袋などが欠かせません！



缶ぼっくり：給食センターにいただいた缶です。装飾もスムーズにできました。



〈小規模校の機動力！〉

運動会当日、急遽、プログラムにない全校リレーを最後に行いました。会場準備の最後に試しにやってみて、バトンパスも軽く練習していたのですが、結果、大接戦！盛り上がりの中、運動会を締めくくることができました。

## 研究公開コンテンツ② 個別の探究活動（総合的な学習の時間：以下 総合）

### ■ こんな課題や現状がありませんか？（本校の課題）

- 活動や体験だけで、子どもたちの「学ぼう」という意識が低い。
- 教師主導で、年間計画に沿ってこなす感じの総合
- 行事練習や時数調整のための総合 など

「させられている総合」

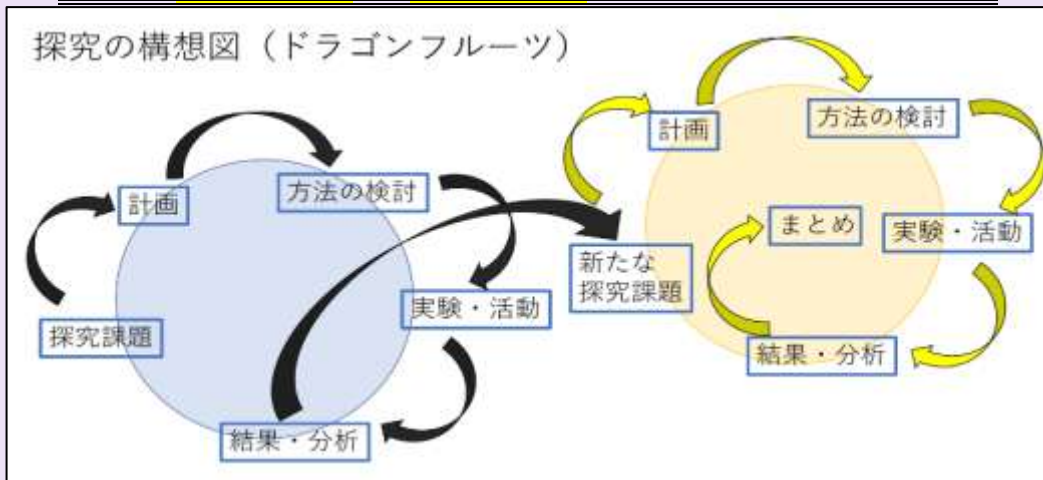
### ■ 大きく転換していこう！

- もっと自由に学びを展開できる総合
- 子どもが楽しく、知りたいことを追求できる時間となる総合
- 何度でも失敗し、計画を練り直して実験できる総合
- 教科で得た学びを横断的に活用できる総合

転換の必要性

「子どもがする総合」

子どもが自ら課題設定し、探究サイクルを何度も回していく総合へ！！



### ■ どんな題材を扱えばいいのかな？ 何でも自由というわけではいけないな…。

#### 【条件1】 探究的な活動ができる素材

⇒ インターネットや書籍で調べるだけで解決できない！常に思考し、学び続ける素材

#### 【条件2】 奄美大島の特産であったり、子どもに身近であったりする素材

⇒ 地域素材の活用！子どもがイメージしやすく、日頃から探究心をもてる素材

#### 【条件3】 発達の段階に応じて取り組みやすい素材

⇒ 管理や長期の休みのことなど、一人ひとりが扱いやすい素材

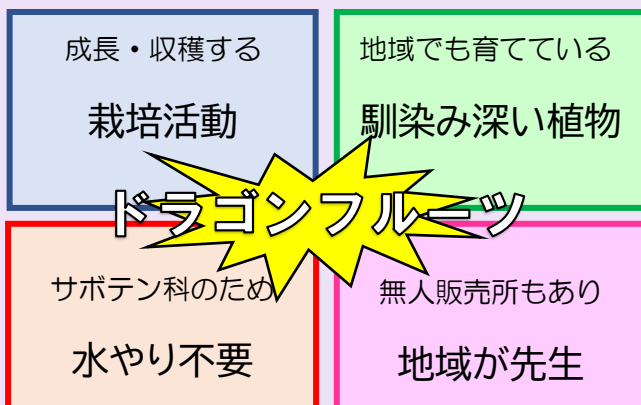
#### 【条件4】 教師の負担大とならない素材

⇒ 地域の方から学ぶ！教師が答えをもっていないから、教える立場から教師も学ぶ素材



「ドラゴンフルーツを栽培し、

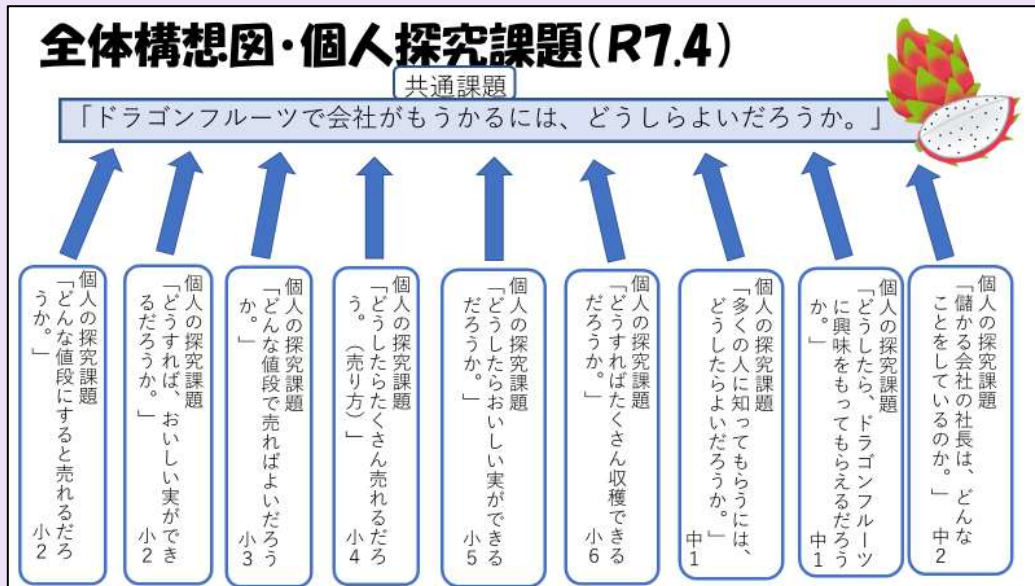
**自ら学びを設計できる総合**」



### ■ どのように課題設定をしていけばよいのかな？

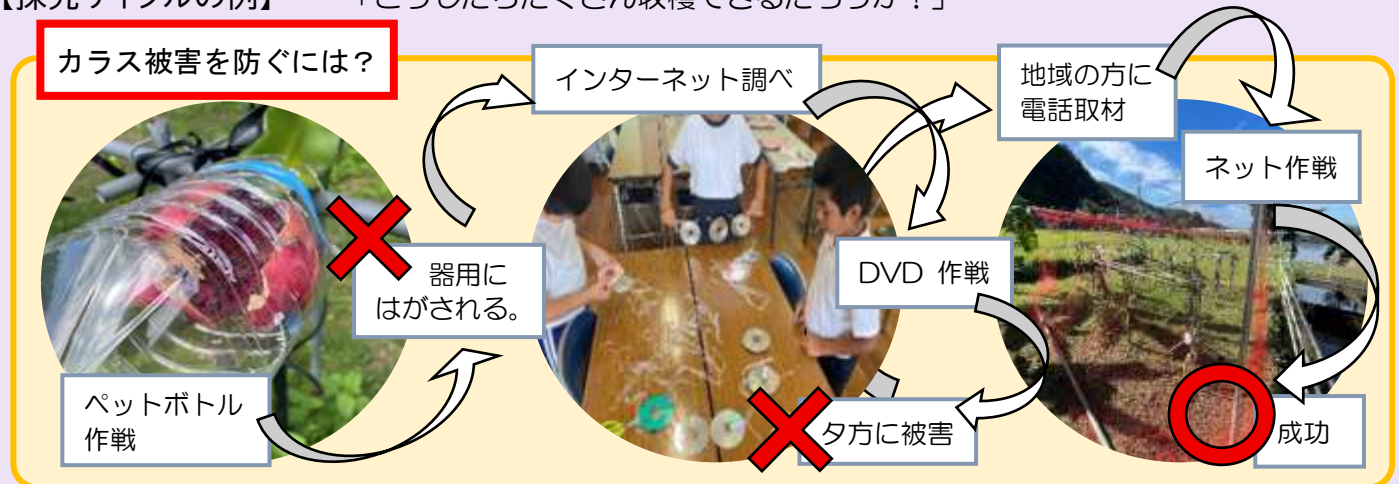
- やりたいことなら何でもいいのか…。
- 初めてでうまく課題設定できるか…。
- 簡単に解決できる課題になってしまわないか…。

■ 課題設定も小中併設校のよさを生かして、話し合いながら中学生のアドバイスを取り入れて…



- 生徒会長を社長とし、会社経営をしながら販売をめざすというコンセプトで始める。
- 共通の全体課題を立てて、そこから小さい個人課題を一人ひとりが設定する。
- それぞれが、個人探究を解決することで、共通課題を達成できるようになる。

【探究サイクルの例】 …「どうしたらたくさん収穫できるだろうか？」



【探究活動における教科横断的な学び・地域の方との連携】

	<p>地域の方の助けをもらって、花壇を撤去するなどして一から作った畑に苗を定植</p>		<p>古仁屋高校の商業出前授業で消費と販売についての学習</p>
	<p>街角インタビューに向け、お店の予約も、自分たちで電話確認</p>		<p>県民週間中の中間発表会では、グラフにまとめるなど他教科での学びを活用</p>
	<p>古仁屋のスーパーまでバス移動し、消費者目線のアンケート調査実施</p>		<p>果実の収穫と試食。切り方も自分たちで思考しながらカット</p>

## 研究公開コンテンツ③ 特別活動の様子から



### 【フォトランゲージ】

左の画像から気付くこと、考えたいことは、どんなことでしょうか？

いつ：今年度の運動会当日

どこで：本部 放送席

だれが：小学2年生 Sさん

これにつながるこんな場面がありました。

運動会を間近に控え、いろんな練習に励む最中のSさんとのやりとり

Sさん 「ぼくも、運動会で放送をやってみたいなあ。」

先生1 「やりたくても、スラスラと話せないといけないんだよ。」

Sさん 「大丈夫です。ぼく、ちゃんとやりますから。」

先生2 「じゃあ、やってもらおう。」



では、果たしてできるのでしょうか？

<答え> 「次は、プログラム8番、ジャンケン競争です。集落のみなさ

まは、編成所にお集まりください。」などなど

はい。大変、お見事でした。



さらに、背景には、ある営みが…

**小中併設校だから中学生の指南がふんだんに！**

いつも中学生が優しく寄り添ってくれています。



(小学生が分かるように…) (作業がスムーズに進むように…) (考えをまとめられるように…)

<運動会の放送を振り返って> (Sさんの現在の声)

【朝の放送の時間：放送室】

ほうそうは、ぜんぜんドキドキしませんでしたよ。

1年生のとき、Sにいちちゃんがするのを見ておぼえたし、Sにいちちゃんにきたえられました。

先生たちにもほめてもらいました。



<もう一人の同級生の児童会活動の振り返り> (小2 Kさん)



1 おもしろかったことや大変だったこと

- ① 朝のほうそうできんちょうした。
- ② こっきあげが高くてできなかった。
- ③ こんだてボードをはるのがむずかしかった。

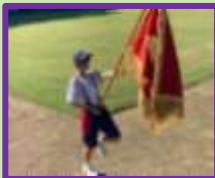
2 できるようになったこと・がんばったこと

ほうそうとかボードもJねえちゃん、Rねえちゃんを見て、おぼえてできるようになりました。

◆ 小学2年生の2人には、油井校でやってみたいことがあります。

- みんなで油井小中学校の歌を作って、ほかの人にきかせたい。
- 夏に手作りアイス売って、学校でつかうどうぐを買いたい。
- 自分たちでそだてたおやさいを売りたい。  
(ドラゴンフルーツだけじゃ、あんまりもうからないのでおやさいも売るといい)

【生徒会長として】



中2は、私1人です。3年生がいないから、自ずと生徒会長を務めなければいけない立場にあり、私なりの苦労や達成感を味わっています。

苦労面： 人をリードするタイプではない私に、生徒会長を務まるのかという不安があり、はじめは悩みました。

達成感： 行事や集会で小学生が笑顔で楽しんでいる姿を見たり、代表として役割を果たしたりしたときなど、清々しい気持ちになります。

